

平成24年度事業計画書

(自平成24年4月1日～至平成25年3月31日)

財団法人 双葉電子記念財団

平成24年度事業計画書

自 平成24年4月01日

至 平成25年3月31日

I. 基本方針

我が国の経済活動は、昨年3月11日の東関東大震災による、復興基調の失速から、復興需要による一時的な景気回復はみられるものの、エネルギー問題、円高などによる製造業のアジア諸国への急速なシフト、タイの洪水被害による部品調達の遅れ等日本の家電、自動車産業等大幅な赤字転落が発表されました。今後は、昨年に続いての東関東の除染対策や産業復興、欧州の債務問題への対応、ロシア、台湾、ドイツ、フランス、中国、米国、韓国など主要各国の政権トップの交代と選挙等、日本の経済界への影響は予断を許しません。

当財団としてもこうした社会情勢や経済状況を踏まえ、公益法人に課せられた使命を再認識し、一層の効率的・効果的な事業運営に努めていくことが必要であると考えます。

特に、平成20年12月1日に新公益法人制度改革関連法の施行に伴い、主務官庁を千葉県から国へ変更すると共に、行政庁の指導のもと、新公益財団法人移行認定に向け、新定款の作成および移行準備を進め、本年2月15日に、移行認定の電子申請手続きを行うに至りました。この後は、内閣府公益認定等委員会事務局との折衝になります。

(財)双葉電子記念財団にとって、本年度は初めての大きな変革の年であり、これまでの当財団の過去の諸事業の実績を踏まえつつ、新たな展開を期する為、以下の諸事業を推進することといたします。

II. 事業内容

1. 自然科学技術研究助成事業

現状、これまでの研究助成の方針である、千葉県を中心とする、周辺地域の試験研究機関、大学等に応募書類の郵送及び財団ホームページを通じ、我が国の産業基盤に関係する埋もれた自然科学技術を発掘し助成を行います。さらに、過去に助成を受けた施設等を訪問し、財団助成金による研究内容・設備等の確認等を併せて行います。但し、公益移行認定後は、新体制による全国対応の公益財団法人として、その研究助成方法や対象の変革を行います。

なお、平成23年度に助成金を受けられた研究者の方々には、7月6日(金)開催予定の研究成果発表会において其の研究の一端をご発表いただくと共に、研究成果を年報に掲載することにより、広く周知を図ることとします。

また、本年度も以下の通り研究助成金の交付及び贈呈式並びに成果発表会

等を行います。

<平成24年度助成金額>

A区分：200万円以下/1件を約 5件

B区分：100万円以下/1件を約15件 AB計約20件

(なお、継続申請者は3年まで、累計で3回までとします。)

<千葉大学「なのはなコンペ」2012>

今年度も千葉大学関係先と連携のもと、大学内での「ベンチャー志向先端研究部門」としてベンチャー起業に繋がる可能性を持つ自然科学分野の先端研究の支援を行います。

学内審査を経て選考された優秀な研究者には、評議員会で承認後、理事会で決定し、当財団から研究助成金の支給をおこないます。

<研究助成金贈呈式>

本年度も7月6日(金)に平成24年度に助成金を受けられる研究者の方々に対し、研究助成金決定通知書の贈呈式を千葉市美浜区のホテルスプリングス幕張において開催いたします。また、併せて、23年度に助成金を受領された研究者の研究成果の一端をご発表いただきます。

なお、研究成果の内容については、当財団の年報等に掲載することにより周知を図ります。

2. 奨学金給付事業

現状、原則として、千葉県内の大学の大学院博士後期課程に在籍若しくは千葉県内に居住する大学院博士後期課程に在籍する大学院生を対象に募集を行います。平成25年度の募集に当たっては、広く応募者を募る為、あらかじめ大学を訪問し、当財団の設立趣旨等の説明を行い財団の事業活動の周知に努めます。但し、公益移行認定後は、新体制による全国対応の公益財団として、その奨学金給付方法や対象の変革を行う可能性があります。

なお、前年と同様に海外からの留学生も対象とします。

<平成24年度対象者>

月額7万円 7名

3. 発明振興事業

次世代を担う青少年に、科学する楽しさ、創造する面白さを、体験・学習する場として、(一般社)千葉県発明協会が推進する「青少年創造性育成事業」に協賛し、茂原市に設立された「茂原少年少女発明クラブ」活動事業等を支援します。

また、県内の工業高等学校が行うロボット技術を競う大会、茂原市技術家庭教育部会の技術教育、茂原市教育委員会が主体で実施する「おもしろ実験まつり」等の科学技術教育活動に引き続いて支援します。

4. 公益財団法人への移行準備

情報収集に努める一方、行政庁及び関係先と連絡を密にし、諸規程作成並びに役員会・評議員会開催を行い、新公益財団法人への円滑な移行を進めます。

5. 財団事務局内の整備

新公益法人移行に伴い、これまでの(財)双葉電子記念財団の資料の整理並びに過去の助成成果のデータベース化を進めると共に、そのデータを有効に生かせるようなデータシステムの構築、非常時のリスク回避を考慮したデータの危険分散など、事務所内の IT 整備を行います。また、公益移行認定後は、全国対応の公益財団事務所として有益な活動が展開出来るよう、最適な情報収集活動の検討を行い、有効なシステム体制を構築致します。

24年度収支予算書

自 平成24年4月01日
至 平成25年3月31日

1. 総括表

(単位:円)

区 分	収入額	支出額	差引残高	差引残高の処理	
				基本財産 へ組み入	翌年度繰 越
一般会計	78,735,024	90,226,000	△ 11,490,976	—	—
計	78,735,024	90,226,000	△ 11,490,976	—	—

2. 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
1. 財産運用収入	78,735,024	78,815,024	△ 80,000	
1) 預金利子収入	600,000	680,000	△ 80,000	
2) 配当金収入	78,135,024	78,135,024	0	
2. 寄附受入収入	0	0	0	
収入合計	78,735,024	78,815,024	△ 80,000	

自 平成24年4月01日

至 平成25年3月31日

3.支出の部

科 目	当期予算額(A) (H24/4~H25/3)	前期予算額(B) (H23/4~H24/3)	増減(A)-(B)	摘 要
1. 事業費	61,830,400	72,340,000	△ 10,509,600	
1)研究助成金	35,500,000	36,500,000	△ 1,000,000	
2)奨学金	9,400,000	10,740,000	△ 1,340,000	
3)発明振興費	6,300,000	7,700,000	△ 1,400,000	
4)理事会・評議員会	2,880,000	1,780,000	1,100,000	
5)選考会費	3,000,000	2,120,000	880,000	
7)広報費	1,750,400	1,500,000	250,400	
8)発表会費	2,500,000	1,500,000	1,000,000	
9)書籍出版		10,000,000	△ 10,000,000	
10)その他	500,000	500,000	0	
2. 管理費	28,395,600	22,806,200	5,589,400	
1)人件費等	20,700,000	17,160,000	3,540,000	
給与等	19,700,000	16,200,000	3,500,000	
福利厚生費	600,000	600,000	0	
旅費交通費	400,000	360,000	40,000	
2)備品費	300,000	200,000	100,000	
什器備品費	300,000	200,000	100,000	
3)消耗品費	1,966,600	1,586,200	380,400	
消耗品費	800,000	300,000	500,000	
印刷費	0	100,000	△ 100,000	
通信・運搬費	484,400	480,000	4,400	
水道・光熱費	216,000	240,000	△ 24,000	
保守・リース料	466,200	466,200	0	
4)一般諸経費	2,260,000	2,360,000	△ 100,000	
借室料	2,260,000	2,160,000	100,000	
その他		200,000	△ 200,000	
5)雑費	2,669,000	1,500,000	1,169,000	
6)その他	500,000			
3. 予備費		500,000	△ 500,000	
支出合計	90,226,000	95,646,200	△ 5,420,200	
収支差額	△ 11,490,976	△ 16,831,176	5,340,200	
合 計	78,735,024	78,815,024	△ 80,000	

平成24年度支出予算